平成２５年度自動車アセスメント試験結果発表会の実施結果について

平成 25 年度における自動車アセスメント試験結果について、メディア関係者を招待し報道を通じたアセスメント事業の広報を行うとともに、集客効果のあるイベントを催してユーザー等にアセスメント事業の広報を行った。

１．日　　時　５月　９日（金）　　12：30～15：00（結果発表会）
　　15：00～18：00（試験車両展示、トークショー）
　　１０日（土）　　10：30～18：30（試験車両展示、イベント等）

２．場　　所　二子玉川ライズS.C.内　ガレリア

３．開催概要
（１）結果発表会
① 自動車アセスメント試験結果の発表及び JNCAP ファイブスター賞の発表及び表彰
② 著名人とメーカー技術担当者によるトークショー
③ 試験車両、試験実施チャイルドシート、NASVA 関連パネルの展示
④ アセスメント試験、各メーカーの技術解説等の動画放映
（２）イベント
① 東京都市大学による研究成果「新規車両安全評価への縮尺模型の活用」の発表
② NASVA ネット、シートベルトコンビンサー、子供免許証の発行
③ スタンプラリー、大道芸、着ぐるみショーの実施
④ 各自動車メーカーの車両、パネル展示

４．来場者
① アセスメント結果発表会　報道関係者：６７名
② 一般来場者：34,968 人
　　（9日：11,760 人、10 日 23,208 人）［昨年度実績：29,000 人］
③ アンケート回答者：８１人
④ パンフレット配付部数：1,381 部

５．報道状況の結果
① ２４の Web サイトにてアセスメント結果に対する報道がされていた。
② ホンダ、三菱はホームページのトップ頁で、他のメーカーも分かり易い場所で５★受賞を宣伝していた。
③ ２ちゃんねるでは、軽自動車の５★賞について３００件近いやりとりがあった。
④ 5★賞を受賞した旨の CM、リーフレット作成、ショールームにおける展示、販売公告への掲載等積極的な活用があった。
⑤ 報道公開を受けて、5★賞のロゴステッカーが欲しい旨の依頼があった。

６．公開の模様

（１）４月２３日（水）：事前広報用のラジオ番組収録

文化放送の収録

ＦＭ東京の収録

（２）５月９日（金）：結果発表会とトークショー

国土交通省自動車局挨拶（若林審議官）

自動車アセスメント試験結果の説明（斧田室長）

鈴木理事長挨拶

ファイブスター賞の表彰状授与

大型メダルの授与

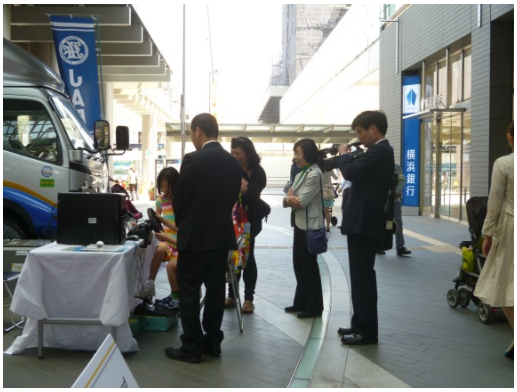
ＪＮＣＡＰ大賞授与

軽自動車部門 JNCAP 大賞授与

メーカー技術者等によるトークショー

報道取材の模様

（3）５月１０日（土）：イベント等によるアセスメント事業の広報：



ＮＡＳＶＡネットの体験

東京都市大学のプレゼンテーション

シートベルトコンビンサーによる体験

スタンプラリーのゴール風景

着ぐるみの写真撮影

大道芸によるパフォーマンス

業務関連パネルの展示

交通遺児作品の展示

NASVA 支所における自動車アセスメント試験車両の展示について

自動車ユーザー等に広く自動車アセスメント等を周知するため、都内で開催した「平成 25 年度自動車アセスメント結果発表会」に加えて、新たな試みとして NASVA 広島主管支所に試験車両等を展示した。

開催期間中は、来場者（約４５０人）に対してパンフレットの配布等を行い認知度向上を図るとともに、広島県内の被害者団体との交流会（２５人参加）及び NASVA 業務のパネル展示等により NASVA 業務の一体性の周知も行った。

NASVA の認知度等を把握するために実施したアンケートでは、約２５％の人が自動車アセスメントを知っているとの回答であった。

１．日　　時：一般公開　５月 13 日（火）～17 日（土）　09:00～17:00
　　交通事故被害者交流会　　18 日（日）１0:30～15:00
２．場　　所　広島主管支所　試験車両展示（駐車場）
　　パネル展示等（ロビー）
３．開催概要
① 試験車両の展示
マツダ　アテンザ（平成２５年度 JNCAP ファイブスター賞受賞車両）
② パネル展示等（平成２５年度ファイブスター賞受賞全車両）
・アセスメント関連パネル
・自動車アセスメント試験ビデオの放映
③ パンフレットの配布
来場者に対し約 400 部のパンフレットを配布した。
④ アンケート調査
来場者に対しアンケートを実施した。（回収率：約６０％）
⑤ 着ぐるみによる集客
４．来場者
① 一般来場者：約 450 人
（初めて NASVA 及び自動車アセスメントを知った者約３００名。）
② 交通事故被害者団体等：２２人
（広島頸髄損傷 Life Net、広島頸損ネットワーク、脳外傷友の会広島・シェイキングハンズ、広島県車いすテニス協会、荒木脳神経外科）
③ 適性診断受診者：約１５０人
④ 特別講習受講者：１６人
５．実施結果について
① NHK 広島、TSS テレビ広島での放送、中国新聞の記事を見て来場する一般の方が多く見られた。
② 一般来場者反応として、車の安全性の向上や自動車アセスメントに強い興味を示した。
③ 交通事故被害者団体等の方にも、一般来場者と同様に関心を示すと同時に自動車事故の被害を軽減するこのような取り組みに賛同する意見が多く見られた。

５．報道状況

（１）NHK 広島放送局（５月１４日に朝に計２回放送）

（２）TSS テレビ新広島
（５月１３日朝及び１６日夕方）

（３）中国新聞（５月１３日朝刊）

衝突実験済み車両 展示

広島で自動車事故対策機構

独立行政法人自動車事故対策機構（東京）は13日、広島市西区観音新町の広島主管支所で、安全性能を調べる衝突実験に使った車両の展示を始める。東京以外での展示は初めて。車の安全に関心をもってもらおうと企画した。

展示車両は、国の安全基準で2013年度に最高評価の五つ星を得たマツダの「アテンザ」。運転席側の側面に別の車を時速55キロでぶつけたものを展示する。同機構の実験では、運転手への衝撃は骨折をしない程度にとどまった。ほかの車両の衝突試験もパネルや映像で紹介する。

機構は車の安全性について、運転手、歩行者、同乗者をどれだけ保護できるかを客観的に審査している。「安全性を5段階で評価しており、車を選ぶ参考にしてほしい」としている。展示は17日まで。無料。☎082（297）2255。（堀晋也）

中国新聞
経済データベース
ちゅーBiz
登録 2000社・団体
記事 15万件収録
お申し込み・お問い合わせ
☎082-236-2750

６．展示の模様

（１）一般公開

① 展示レイアウトの概要

② 受講者に対する自動車アセスメントの説明

③ 取材の模様

④ 御視察等

試験車両のご視察

吉田参事官と徳政氏の対談

⑤ 報道による一般来場者

試験車両の展示説明

アンケートの実施

ロビーにおける試験映像の放映

パネル展示

（2）交流会

内田理事挨拶

アセスメント事業の説明

試験車両の説明

参加者の記念撮影

荒木脳神経外科：江本様講演

高次脳機能障害サポートネット濱田様講演

広島県車いすテニス協会南様講演

広島頸髄損傷Life Net徳政様講演

広島

朝日新聞

広島 広1 13版▲ 2014年(平成26年)5月19日 月曜日

車の安全性能評価 周知を

事故被害者ら意見交換

自動車の安全性向上を図り、交通事故被害者を支援している独立行政法人「自動車事故対策機構」（NASVA）が18日、広島市西区観音新町の同法人広島主管支所で、事故被害者らと交流会を開いた。市場に出回る車の安全性能の評価「自動車アセスメント」を受けた車両を見てもらい、車の安全性などについて意見交換をした。

被害者とその家族ら22人とNASVA関係者ら15人が参加。同支所駐車場で被害者らは、側面衝突試験で乗員の安全性が高いと評価されたマツダのアテンザを見学した。

息子が車にはねられ、重傷を負った呉市の山形郁美さん(54)は事故当時、車の安全性能を調べたが、情報を集めるのが難しかったという。「今日は理解が深まった。NASVAは安全性に関する情報を多くの人に伝え、車を買う人が参考にできるようにしてほしい」。NASVAの内田傑理事は会合で「活動がいかに知られていないかわかった。広報を工夫したい」と語った。（杢田光）

側面衝突試験を経た自動車＝広島市西区